

<u>CLASSE :</u>	絵本翻訳（仏→日） TrM-60L
<u>Jour :</u>	土曜日
<u>Horaires :</u>	10:00-11:50
<u>Niveau :</u>	A2
<u>M./Mme :</u>	M. ITO Keisuke
<u>Objectifs :</u>	<p>①フランス語の絵本作品を楽しみ、味わう。 ②物語を理解し、味わえるだけの読解力を身につける。 ③理解した内容が伝わる日本語を書く力を身につける。</p>
<u>Descriptif :</u>	<p>今学期は、例外的に絵本というより挿絵の本ではありますが、Marie-Aude Murail の Le hollandais sans peine(1989)を取り上げます。Marie-Aude Murail は、児童文学の世界的な賞である国際アンデルセン賞作家賞を 2022 年に受賞した、フランスを代表する児童文学作家であり、本作は彼女の初期の代表作の 1 つとして、今もフランスの子どもたちに、特にヴァカンスの時期に読まれている本です。</p> <p>各回の授業は以下のように進めます。</p> <p>①ある程度の分量をまず一度予習として訳してもらいます。(義務ではありませんが、なるべく一度訳しましょう。)</p> <p>②授業では、みなさんの訳文を共有してコメントしつつ、文法や語彙の確認をしながら、作品を精読します。</p> <p>③授業後、希望者はもう一度訳文を提出してください。</p> <p>最終的に、それぞれが作品全体の自分なりの翻訳を作り上げることを目指します。</p>
<u>Matériel :</u>	プリント教材を使用します。
<u>Remarques :</u>	<p>絵本は、比較的平易なフランス語で書かれており、とっつきやすくはありますが、簡潔に練られている分、なぜそのように書かれているかまで含めて「ちゃんと理解する」ことは意外と難しいです。</p> <p>そこまで読み取って作品を味わいつつ、作品を読む楽しみまでを伝えられる日本語を目指しましょう。</p>